

あとがき

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 窪野, 清 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024642

あとがき

昨年12月の中央教育審議会の答申を受け、平成29年3月31日付で新学習指導要領が告示されました。今回の改訂では、「社会に開かれた教育課程」をめざし、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が求められています。また、各教科の特質を「見方・考え方」という観点で捉え、それに基づいて育成をめざす「資質・能力」が再整理されました。

その「資質・能力」について、新学習指導要領では次のように謳われています。

生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。その際、児童（生徒）の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

1. 「知識及び技能が習得されるようにすること。」
2. 「思考力、判断力、表現力等を育成すること。」
3. 「学びに向かう力、人間性等を涵養すること。」

（新学習指導要領／p4 総則より）

本校では、早くからこの資質・能力の育成に注目し、「主体性を高める授業過程」という研究テーマにある、『主体性ある人間』に必要な資質・能力を「要素」という言葉で表し、各教科でその育成を図ってきました。

今年度も、各教科で「教科で育てたい生徒像」をイメージし、そのイメージにせまるための要素（資質・能力）を明らかにした上で、教科テーマにそった研究を重ねて参りました。そこで、本発表会においても各教科で進めてきた教科研究の成果を提案いたします。特に、公開授業においては、教材のおもしろさだけでなく、「教科でねらっている資質・能力が生徒の身に付いているか」という視点からのご参観いただき、忌憚のないご意見をいただけますとありがたいです。

また、数年来、本校の研究は「連携と貢献」をキーワードに、大学や地域の教育委員会、公立学校と連携しながら研究を積み重ねることで、いわゆる地域のモデル校としての可能性を探ってまいりました。具体的には、「共同研究者」を務める静岡大学教育学部の先生方はもちろん、「島田市教科等指導員」や「研究協力委員」をはじめとする地域公立小中学校の先生方、各教科の指導助言者としてサポートをいただいている静西教育事務所地域支援課の先生方等との連携を通して、本校の実践研究が地域において工夫・改善・実践されること、すなわち、地域の教員の資質・能力の向上、教育活動の推進に寄与することをめざしております。

今年度も、これまで地域の小中学校や教育委員会、大学等、本校の研究に携わっている方々からは年度当初より熱心に本校に足を運んでいただき、研究の方向性や実践のあり方について貴重なご意見を賜うことができました。本校の研究にご注目をいただき、期待をかけていただいていることに深く感謝申し上げます。今後も、地域に寄与していく姿勢を保持し、努力を積み重ねてまいります。引き続き、ご指導、ご鞭撻をいただきたく、お願い申し上げます。

副校長 窪 野 清